

新海誠

監督による
初の長編劇場アニメーション作品

『雲のむこう、約束の場所』

に登場する
小型飛行機「ヴェラシーラ」を模型化!



長編劇場アニメーション

『雲のむこう、約束の場所』

あらすじ

日本が南北に分断された、もう一つの戦後の世界。青森の少年・浩紀と拓也は、ユニオン占領下の北海道にそびえる謎の巨大な「塔」まで飛ぼうと、自力で小型飛行機「ヴェラシーラ」を組み立てていた。二人は憧れの少女・佐由理とある約束をするが、中学三年の夏、佐由理は突然転校してしまう。

三年後、浩紀は佐由理があの夏からずっと原因不明の病により眠り続けたままなのだとことを知る。佐由理を永遠の眠りから救おうと決意し、拓也に協力を求める浩紀だったが――。

■ 浩紀と拓也の思いをかたちに

ヴェラシーラを作り上げた浩紀と拓也に敬意を表して、各パーツを組み上げる工程も楽しめるキット形式での模型化です。プロペラの直径は約 25 センチ、機体の全長は約 16 センチ。機体部分がちょうど両手の手のひらにすっぽり収まるサイズ感で完成します。

高透明度プラパーツ



高強度プラパーツ

高精度レジンパーツ

■ 独特のスタイルを一体成形で

円形の翼と、主要部とエンジン部の二層構造になった胴体がヴェラシーラの特徴ですが、これは組み立てが難しくなりがちなスタイルと言えます。そこで、この主要部分にレジン樹脂による一体成形工法を採用しました。一般的なプラスチックモデルでは多くなりがちなパーツ点数を大幅に抑え、最小限の組み立てでヴェラシーラの再現を可能にします。

■ パーツごとに最適な素材を選定

機体を一体成形とするにはレジン樹脂が最適ですが、通常のプラスチック成形の方が良いパーツもあります。強度が必要なプロペラ、透明度や組み立て精度が必要なキャノピー周りなどは、プラスチックモデルと同じ金型を用いたプラ成形を採用しました。パーツごとに最適な特性を備えた素材を用いることで、リアルかつ精密な再現と組み立てやすさの両立を実現して、ヴェラシーラの美しい姿をお届けします。

- ・ 機体はレジン(無発泡ウレタン)樹脂製。胴体、主翼、尾翼は完全一体成形。
- ・ キャノピーは透明プラ製。コクピット周辺もプラ製とした組み立てやすい構成。
- ・ プロペラは強度の高いプラ製。回転状態と固定状態の2セットを用意。
- ・ 透明プラ製のディスプレイ用スタンド付属。展示状態でのプロペラ回転も可能。

※製品は組立・塗装が必要です。一部の組立工程に一般的なプラキットと異なる部分があります。

※製品に接着剤・塗料は含まれません。

独特のフォルムは、
高精度レジンによる **完全一体成形!**